ときの玉手箱

～博物館からのメッセージ～

第141回

埋木の決意ー井伊直弼のおいたち

▲井伊直弼筆「うもれぎのやの言葉」

文化12年（1815）10月29日、彦根城内の槻御殿で男の子が生まれました。父は11代彦根藩主の井伊直中、母は江戸の町人君田家の娘・富。この子こそ、後に13代藩主となり、江戸幕府では大老として活躍した井伊直弼です。

しかし、このときすでに直中は、3男の直亮に家督を譲って隠居生活を送っており、14男としての直弼の誕生は、藩にとってはそれほどの大事ではありませんでした。

槻御殿で暮らした直弼は、父のもとで種々の武芸や学問に親しみ、充実した日々を過ごしました。そして、天保2年（1831）、17歳のときに父が世を去ることにより、不自由のない日々に終止符が打たれました。御殿から尾末町の「北の御屋敷」に移り、300俵の扶持を給される生活の始まりです。

井伊家には、分家を作らないしきたりがあり、庶子は、他家を継ぐか家臣の養子となるかが常でした。どちらの道もとらない者は、屋敷と扶持を与えられて暮らすことになります。兄たちはすでに行き先が決まり、残るは直弼と弟直恭の2人だけとなっていました。

3年後、江戸にいる藩主直亮から、直弼と直恭のもとへ、大名家の養子とするから出府せよとの命が出されました。結果、養子の座を射止めたのは直恭だけでした。直恭が、3か月後には延岡藩内藤家の家督を継ぎ、一躍7万石の藩主となったのに対し、直弼は、養子先が決まらないまま1年余りを江戸で過ごし、帰国の途につきます。

1人となった直弼の心中はいかばかりであったでしょう。ここに、江戸藩邸で彼が記したとみられる文書があります。題して「うもれぎのやの言葉」。直弼は彦根の自邸を「埋木舎」と名付け、その意味を和歌で表現しました。

ざつ（雑）事もうさも（憂）聞かじや埋（埋）木の
うもれてふかき（深）こころ（心）ある身は

世の中の雑事も煩わしいことも聞かないのだろうか、ただ埋木のように埋もれて深い心のある身は。そして、自らを埋木にたとえたのは、厭世からではなく、ただなすべき修養にはげもうと決意したためだというのです。

この文書は草稿のようですが、一筆一筆に精神を集中させており、強い意志を感じさせます。考えを文字にすることにより、自身に言い聞かせようとしたのでしょうか。若き直弼の人生観を知る、極めて重要な資料といえます。

この決意どおり直弼は、世子となるまでの15年間、実に真摯に文武の道にはげみました。禅、茶の湯、和歌と国学、そして居合。茶の湯や居合は、のちに一派を創立するほどでした。近年の研究での直弼は、政治家としてだけでなく、当時の代表的文化人としても注目に値すると考えられています。

多くの兄弟の中で一人他家の養子にも行かず、社会的な活動の場をもたないという状況にあっても、自暴自棄におちいらずに研鑽し続けた直弼。のちに政治の表舞台に立って活躍した直弼の精神的基盤は、不遇をバネとしたこの埋木舎時代につちかわれたのです。

（彦根城博物館学芸員　髙木文恵）

「うもれぎのやの言葉」は、シリーズ「直弼発見！」巻の一「井伊直弼　大老への道のり」で6月24日㈫まで展示しています（期間中無休）。

施設だより

ひこね市文化プラザ

☎26-8601　FAX 26-8602
6月の休館日：2㈪・9㈪・16㈪・23㈪・30㈪

6月

6月15日㈰　13：00～／16：00～　2回公演
こどもちゃれんじ　ファミリーシアター
しまじろうと ゆうえんちへ いこう！
指定　1,500円（3歳以上）
【好評発売中・残席わずか】
※完売の際はご了承ください。

7月

7月5日㈯　13：30～
お楽しみコンサート「七夕」
☆邦楽のお琴をやさしく紹介します。音楽絵本もお楽しみに！赤ちゃんから年配の人まで、だれもが気軽に楽しめる音楽会です。
☆出演：京都當道　琴尚会
【鑑賞無料】

8月以降

10月5日㈰　15：00～
大阪シンフォニカー交響楽団 演奏会
☆指揮：矢崎彦太郎、ソプラノ：緑川まり、テノール：中鉢聡
指定　S席 4,000円、A席 3,000円、B席 1,500円
【7月13日㈰発売開始】

ひこね市民大学講座

第1講　7月12日㈯　14：00～
「言葉のチカラ～私の選んだ道～」
市原悦子さん（俳優）

第2講　9月7日㈰　14：00～
「日本の政治経済のゆくえ」
宮崎哲弥さん（評論家・コメンテーター）

第3講　10月4日㈯　14：00～
「環境と健康」
北野大さん（工学博士・明治大学教授）

☆料金：全席自由 4,000円【好評発売中】
※1講座だけの購入はできません。
※未就学児の入場はお断りします。
※要約筆記は、各講演日の10日前までに申し込んでください。

みずほ文化センター

8月以降

8月2日㈯　15：00～
菅原洋一＆英介 父と子のコンサート
☆地元特別出演：コールほなみ
指揮：高木充江
自由　3,000円（当日3,500円）
【好評発売中】

マーク：託児サービスがあります。（要予約）
※公演日の1週間前までにご予約ください。
マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。（有料）

チケット・入会のお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9：00～19：00）

彦根城博物館

☎22-6100　FAX 22-6520
6月の休館日はありません。
6月24日㈫～同26日㈭は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間　8：30～17：00（入館は16：30まで）

テーマ展

～6月24日㈫
シリーズ 直弼発見！ 巻の1
「井伊直弼　大老への道のり」
直弼愛用の品々や、心情を吐露した自筆の手紙により、その生い立ちから大老就任にいたるまでの軌跡を紹介します。

6月27日㈮～7月23日㈬
「弓矢の道ー井伊家伝来の武具ー」
武士が修めるべき技として、その筆頭とされた弓術。武家の統領である大名家に伝わった、さまざまな弓の道具を紹介します。

▲弓籠手（ゆごて）

観覧料が必要です
ギャラリートーク
「弓矢の道ー井伊家伝来の武具ー」
6月28日㈯　14：00～15：00
解説：本館学芸員　坪内広子（つぼうちひろこ）
※事前申し込みは不要です。当日、館内講堂にお集まりください。

常設展の名品

特集コーナー
直弼のこころ
幕末の大老、13代藩主井伊直弼（1815～1860）は、国政を担う政治家として知られる一方、茶の湯や国学、禅、居合などに真摯に取り組む、文化人の面をあわせ持っていました。
このコーナーでは、直弼ゆかりのさまざまな作品を集め、その人となりを紹介します。

6月25日㈬～7月22日㈫
重要文化財
茶湯をりをり草　井伊直弼筆
口切会など、28の茶会の作法について説明した書物。